

令和 7 年度 第 2 回恵那市上下水道事業経営審議会 会議録

日時：令和 7 年 12 月 1 日（月）

午後 1 時 30 分～

場所：恵那市役所 会議棟中会議室

1. 開会

- ・会議の公開について

2. 会長あいさつ

3. 水道環境部長あいさつ

4. 議題

（1）令和 6 年度決算及び事業実施状況について

資料 1 恵那市水道事業決算資料

資料 2 恵那市下水道事業決算資料

5. その他

6. 閉会

1. 開会

・会議の公開について

■事務局（進行） 皆様こんにちは。定刻になりましたので、ただいまより令和7年度第1回恵那市上下水道事業経営審議会を開催します。私は本日司会をさせていただきます上下水道課課長の寺澤です。よろしくお願ひします。

本日の会議は公開とし、会議録も、発言者は特定しませんが公開することとされておりますので御了承下さい。

これより着座にて進めさせていただきます。

2. 会長あいさつ

■事務局（進行） それでは、次第に沿って会議を進めます。

初めに、正副会長を代表して、岡庭会長より御挨拶をお願いします。

■岡庭会長 皆様、こんにちは。いよいよ今日から師走で、今年もあと1カ月で、やり残したことがあれもこれもと迫ってきております。今年は熊が恵那市ではあらゆるところで出没しております。今日の審議につきましては隈なくしていただきますようお願いして挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

3. 水道環境部長あいさつ

■事務局（進行） 続きまして、水道環境部長、梅村より御挨拶申し上げます。

■水道環境部長・梅村 皆さん、こんにちは。水道環境部長の梅村でございます。日頃は上下水道事業だけではなく環境事業でも皆様方にはいろいろお世話になっております。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

本日、第2回上下水道事業経営審議会にお忙しい中御出席いただき誠にありがとうございます。夏は暑かったです、12月に入り朝晩もめっきり寒くなりました。秋を感じないということを思いましたが、もみじの色が、今年は朝晩の気温差が激しくて例年になくすごくきれいに染まっていると思っています。私もきれいだなと思ったところです。

また、今年は米がたくさん取れたという話を聞いておりますが、取れていても高いということですし、長野の方では今年は夏に雨が降らなかったり高温の影響もあり、マツタケが全く採れなかつたという話を聞いております。最近の気候による影響はいろいろなところに出ており、なかなか思うようにいかない気候になっていると感じています。

さて、本日の審議会は、令和6年度の決算と事業実施状況について御審議いただきたい

と思っております。両事業とも経営状況が大変厳しく、本来の地方公営企業というものは、企業性の発揮と公共の福祉の推進を経営の基本原則とするものであり、経営に要する経費は事業の収入により賄う独立採算性が原則となっております。しかしながら、料金収入は下向傾向にあり、特に水道事業では、経営戦略でも示しているように、料金改定を考えいかなければならない時期になっております。一般会計と違い企業会計ですので大変難しい点もありますが、両事業の経営事業を皆様で御確認いただき、さまざまな質問等を委員の方から御意見等を賜りたいと思っております。

本日はよろしくお願ひいたします。簡単ですが以上で挨拶とさせていただきます。

4. 議題

(1) 令和6年度決算及び事業実施状況について

資料1 恵那市水道事業決算資料

■事務局（進行） 続きまして、本日の会議の成立について報告いたします。恵那市上下水道事業経営審議会条例第6条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができないとなっております。本日、委員17名中、13名の方に御出席いただておりますので、本日の会議が成立することを御報告申し上げます。

それではこれより議事に入ります。進行につきましては、会長が務めることになっておりますので、岡庭会長、よろしくお願ひいたします。

■議長 次第に沿って進めます。

「令和6年度決算及び事業実施状況について」でございます。まず、「恵那市水道事業」について、事務局より御説明をよろしくお願ひします。

[事務局から資料に基づき説明]

■議長 事務局より詳細な御説明を頂きました。これについて、御意見、御質問などはいかがでしょうか。

■委員 収益性を見ると非常に健全性が高く、企業債というか負債が非常に減ってきてるのは企業会計からすれば非常に望ましい事態になっているわけですが、全国的に漏水や設備状況が今非常に老朽化しています。設備費用に対する引当は、内部留保資金を充当するのか、今後企業債が減っていくから、企業債を追加して将来の漏水等の設備資金となるのか、どのように対応されていくか聞きたいと思います。

■議長 事務局。

■事務局 設備更新を行うには、非常に大きなお金がかかります。現在現金が20億円程

あり、一部が内部留保資金になっています。現在の内部留保資金だけでは更新費用を賄つていけません。また、令和6年度の収益的支出の中で減価償却費が7億円程あります。それが内部留保資金になり、更新の費用に充てていきます。

当然それだけでは大きな工事を行っていくには足りません。経営戦略に記載しておりますが、企業債を一部借りながら行っていきます。

簡易水道を統合していますが、簡易水道会計のときに多くの起債を借りています。ですので、計画としては、令和6年度の企業債償還金が約4億円、借入金が1億円です。この企業債償還金の額を超えない範囲で企業債を借りていく計画としております。今後施設更新を進めていくに当たり費用が大きくかかるべきとなります。内部留保資金だけでは対応できないため、企業債の借入計画を立てて、工事を進めて行きます。

■議長 そのほかはどうでしょうか。

今、減価償却費とおっしゃいましたが、これについては既に払い済であるものが損益になってくるわけですから、その分が浮いてくるということで、それを充当していくということですね。償却方法は定額法ですか。

■事務局 定額法です。

■議長 そのほかはどうでしょうか。

■委員 今回、資本的支出の中で不足額として5億8千万円余あります。これについては、留保資金で補填する形で、これは過年度分や今年度分であるということだと思います。最後の12ページを見ると、資本的支出の中の補填財源として、一番下の段、ここで5億8千万余が計上されているということだと思います。この理解でよろしいでしょうか。

■事務局 その理解で大丈夫です。令和6年度決算の資本的支出額の不足分が、5億8495万1730円です。その内、当年度消費税及び地方消費税資本的調整額が4687万1036円、残りの不足額、5億3808万694円が過年度分の内部留保資金で調整しています。

■委員 補填財源というのが、計画の中では6億1千万余ということですが、この財源は内部留保資金ということで考えていいのでしょうか。

■事務局 はい、そうです。

■委員 そうすると、内部留保も含めて、先ほどお話をあった減価償却費などを含めて、財源はあると言いつつも、今後この内部留保が減少していくという理解でいいですか。

■事務局 はい、そうです。今の状況は、耐用年数が過ぎたものが増加し、減価償却費がどんどん減少しています。新たに工事をして新しい資産ができたときには、減価償却費が増えていきます。更新率については、耐用年数が過ぎたものが増えていますので、当分の間については減価償却費が減少すると想定しています。

■委員 ありがとうございました。

もう一点ですが、今年度8月に野井地区の漏水があって配水量が増えたということです

が、どれぐらいの配水量、漏水があったのか、分かるでしょうか。

というのは、こういう漏水があったとき、収入にも問題があるということですので、こういうところについてはできるだけ早く発見して処置していただくという所の中で、11ページの重要契約の要旨の中で、契約額が500万円以上のところの3段目、人工衛星による漏水リスク評価業務が出ています。こういう空から確認するというところをぜひ積極的に評価をしていただきながら、漏水箇所の発見に努めていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

■議長 その他、第1号議案について、ご意見はございますか。

では、ほかに質疑がないようですので、次に、恵那市下水道事業に移ります。事務局から説明をお願いします。

資料2 恵那市下水道事業決算資料

[事務局から資料に基づき説明]

■議長 質疑に入ります。御意見、御質問はございませんか。

■委員 下水道の資料では自己資本比率が出てなかつたのでそれが一点。それと、施設が何カ所あってどれくらいの人事費が施設に支払われていますか。

■事務局 自己資本比率は令和6年度末で75.99%となっています。次に、施設は10あり、各施設の人事費は維持管理業者に委託料として支払っている関係上個別に出しているため、施設ごとや公共、特環などの区分では人事費を出しています。

■委員 総括のところで、有収率66.97%で、前年度より1ポイントほど増えていますが、岐阜県の平均や近隣市ではどれぐらいですか。

また、上水道の場合、決算の実績として収益的収支の決算実績と資本的収支の決算実績が付いていたのですが、下水道については付いていません。特に、資本的収支の支出の9億5700万円の内訳がどんな状況なのか、教えていただきたいと思います。

■事務局 近隣市、または県内の状況です。細かい数字を持ち合わせていませんが、一般的には80%以上を目指すべきという考え方で、県についても同様です。もう一点は資本的収支の内訳でよろしいでしょうか。

■委員 先ほど減価償却の話が出て9億円ほどあります。ということはそれがやはり、借金の返済プラス建設投資に向けていくと思いますが、どのぐらいの更新ができているのか。それによって有収率は上がってくる。80%と言われたけど今67%ぐらいしかないから、平均よりかなり低い。

■事務局 有収率が低い原因として、奥戸処理区で管の傷みが進んでいること。特に市街地では大昔、阿木川が蛇行していて地下水が非常に多い地区もあり、そういう関係で不

明水が入ってくる割合が高くなっています。処理区ごとで使われる水量が、奥戸処理区が一番多いため、恵那市全体で見た場合の有収率が下がっている原因と考えられます。更新がどの程度かは、水道事業と同様に老朽化する管渠に対し、更新する管渠は少なくなっている現状です。ただし、不明水調査のデータ蓄積によってどこが傷んでいるかという点は判明しているところがあるため、こういった場所については不明水対策工事を行なっています。また、来年度の予算についてもその部分を強化し、工事の距離を延ばすことを検討中です。

■委員 農集の処理費で処理原価が高くなっているが、使用料が安い。公共下水はほぼ同じです。例えば農集の東野は以前から統合も視野に入れている形になりますが、統合すると金額的には公共の金額になるということですか。実際には原価は422円がかかるとして使用料が186円で、経費の回収率から見ると一番低い。いずれ農集を統合すれば、使用料が高くなることがありますか。

■事務局 汚水処理原価は農集が高い割合となっており、1m³を処理するのにこれだけの費用がかかるため、これを公共下水に繋いでしまうという考えです。すると処理場にかかる費用はゼロになり、汚水処理原価は下がります。公共下水から見ると、東野地区に居住し下水を使っている方が公共下水に料金を納めていただく形になります。農集と公共という差はありますが、下水道事業全体としてみると費用面は改善されます。

■議長 そのほかいかがでしょうか。

■事務局 今の御質問に補足します。下水道の有収率は、上水と下水は別で、下水については皆様でお使いになった水量が全て料金になります。それはメーターをくぐってくるので分かりますが、実際に浄化センターで処理する水は、それよりはどうしても多いです。それは、マンホールの蓋には実は少し穴が開いています。鍵をかける穴とか。このため計画上、どうしてもそのような形で不明な水が入ってくるため 10%から 15%ほど見込むことになっており、残念ながら数字上は 100%にはなりません。90%ぐらいだと思っています。次に、規模が一番大きいのは公共下水道です。これが 46 年ぐらいの年数を迎えていきます。あと、5 つの特定環境保全公共下水道は人口処理機能が小さく、大体年齢が合併当初ぐらいで 20 年から 30 年ぐらいです。また、農業集落排水事業がありますがこれも 20 年ぐらいです。全体として有収率が低くなっていますが、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業については 90%程度の数字があります。どこが一番まずいのかというと、公共下水道です。それが特に年数を重ねていることもありますし、やはり処理場へ向かう流路では管と管の継ぎ目に不明水が入ってきてていますので、ここについても、一個一個マンホールを開け、例えばカメラをマンホールの中に入れて、どんな状況であるかアナログ的な調査を行い、年々修繕をしてきています。昨年度も 1 スパンやりましたし今年度もやっていきます。なかなか改善が進みませんが、そんな形で取り組んでいます。急激

に改善は難しいとは思っていますが、特に原因としては公共下水道ということで、この部分に集中的に取り組んでいきます。当然、浄化センターの処理水量が減ってくれればその分負担が減ってくるということになります。

上水道も、委員から提案を頂きました。我々が見ても、職員の年齢も大きくなり、なおかつ技術的な点もこれからデジタル社会の中で新しい技術を取り入れていくということで、先ほど衛星の技術というのがありました。今まででは「ここが怪しいのでは」ということを我々で予測していました。衛星の技術では、恵那市の970kmぐらいの配管を、地図で100m×100m、長島小学校の学校敷地だと捉えていただきたいですが、それで9300のメッシュに割って、衛星で判断し、怪しいところが300ぐらい見つかりました。昨年度からそこを集中的に漏水の改善をしています。1つが100m×100mのメッシュですが、長島小学校のグラウンドで実際にどこの場所なのかというのは、今まで通り人力の調査をして改善していきます。ここも、新しい技術を導入してある程度目途を立てています。そのような技術も活用しながら、この改善が数字に表れるようにして取り組んでいきたいと思っております。

■議長 補足説明ありがとうございました。そのほかいかがでしょうか。

ほかにないようですので、議事審議は終了いたします。進行は事務局へお返しします。

5. その他

■事務局（進行） 岡庭会長、ありがとうございました。委員の皆様には貴重な御意見をありがとうございました。今後、下水道の経営にしつかり取り組んでいきたいと思います。その他として、連絡事項になります。次回の審議会の開催時期であります。今年度中の開催は今のところ予定しておりません。しかしながら、今後新たに御審議を頂く事案ができましたら御連絡をさせていただきますので御協力をお願いいたします。

6. 閉会

■事務局（進行） それでは、福岡副会長に閉会の御挨拶を賜りたいと思います。よろしくお願いします。

■福岡副会長 今日はお忙しい中御参集いただき、慎重審議誠にありがとうございました。これを生かして恵那市上下水道の事務局の方にはよりよい水道事業を推し進めていただけるようお願いします。

それと、やはり漏水が一番問題です。上水についてはいろいろな経路があるので、その経路ごとにこの経路でどれだけ漏水しているのかというデータを探り、衛星写真で捉えたこ

の辺が怪しいというのと突き合わせ、漏水はあちこちいろいろな所に手を付けると長くないので、モデル地区を作り一度にやってこれだけ漏水が減ったというようなデータも採つてほしいと思います。

以上で経営審査会を終了します。本日はありがとうございました。

■事務局（進行） 福岡副会長、ありがとうございました。以上で終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

[閉 会]